

文化財ワーキンググループ論点（案）

〔 新たな「文化芸術立国」の時代に対応した文化財行政の展開

について〕

I 新たな時代の中で「文化財」が「文化力」構築に果たす役割

II 文化財のもつ潜在力を一層引き出すための文化財行政への展開

1. 「文化力」の発信のための文化財の公開・活用の在り方

- 文化財の公開、活用を促進するための方策について
- 地域の活性化を促す文化財の活用について

2. 文化財を将来の世代に持続的に継承するための適切な保存の取組

- 文化財の計画的な保存修理、防災対策の実施について
- 文化財の日常的な維持管理の充実について
- 文化財について理解を深めるための方策について

3. 文化財に関する伝承者等の養成

- 伝承者養成の在り方について
- 無形の文化財や文化財を支える技術・技能の価値の浸透について
- 担い手の裾野の拡大方策について

4. 文化財を通じた国際協力・交流の推進

- 文化財保護の国際協力の取組に関する国民の理解や関心の増進について
- 文化財を通じた国際交流の推進について

III 文化財行政における「国」、「地方」、「新しい公共」各々の役割及び連携